



発行：近畿長野県人会 会長 高坂昌利

〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目3番1-800

大阪駅前第1ビル8F 長野県大阪事務所内

TEL 06-6341-8191 (代) E-mail:kinkinagano@gmail.com

編集：近畿長野県人会 広報部会

印刷：コア(株) TEL 06-6968-5534

平成30年定期総会・新年懇親会を開催

寒さに負けず122名が集う!!

平成30年定期総会・新年懇親会が1月28日(日)大阪市北区のホテルグランヴィア大阪20階・名庭の間で開催された。厳しい寒さが続くなか来賓・会員合わせて122名が出席、懇親会を大いに楽しんだ。

新年懇親会

新年懇親会は12時から植松高志常任理事(富士見町)の初めての司会のもとに開会。

始めに高坂昌利会長が「長野県からは太田副知事様、近隣の県人会代表の皆さま、遠路ご出席いただき有難うございます。また法人会員はじめお土産や景品を提供していただいた皆様に御礼申し上げます。」と謝辞を述べ、「年末年始には長野県代表校、長野県チームが駅伝大会やラグビー大会で頑張りました。これからも皆さんで長野県を応援しましょう!」と挨拶。続いて来賓の紹介をした。



来賓を代表して長野県太田寛副知事が「会員の皆さまには日ごろから長野県の応援をいただきお礼を申し上げたい。

昨年、新阪急ホテルで開催した『長野の酒メッセ』には会場あふれるほどの参加があり、県人会から

も大勢参加いただき有難うございました。上松町出身の御嶽海関も頑張っています。

『信濃の国』は県歌として今年5月20日に50周年を迎えます。長野オリンピックからは20周年となりますが、その開会式で日本選手団入場に『信濃の国』が演奏されました。」との逸話も披露された。

乾杯は小林道明副会長・親睦部会長の発声とともに祝宴の幕が開いた。



近隣の長野県人会の皆さん



法人会員の皆さん

祝宴開始

会場内の15テーブルには、八寸・造り・鴨あられ饅頭・鯛照り焼き・あんこう竜田揚げ・白身魚の南蛮漬け・笹巻ちまき・メロンとプチケーキが運ばれた。飲み物はビールのほか、寄贈された清酒・地酒、ワイン、焼酎がバーカウンターにズラリと並び、参加者は美酒で杯を交わすことができた。

今回特別に松川町から田中学産業観光課長ほか2名が出席。特区で醸成したりんごワイン・シードルを多数提供いただき「食事を楽しみながら飲んで下さい」とPRされた。

暫く食事した後、太田豊和副会長がお土産品・抽選会の提供品などを紹介。続いて来賓の方々にスピーチをいただいた。

樋口隆教長野県大阪事務所長が「日頃は県人会の方々のご協力ありがとうございます。『信濃の国』は制定50年となり、未来永劫に歌いつがれてほしいです。」と挨拶。事務所の赤岡薫次長と近藤典子係長を紹介された。

近隣の長野県人会代表5氏が壇上に並び、兵庫県長野県人会赤羽嘉紀会長は「平成31年度に70周年を迎えます。」

京都長野県人会甘利警司三副会長は「駅伝の京都と言われています。と一緒に駅伝を応援しましょう。」



松川町のりんごワインも並ぶバーカウンター

淡海長野県人会龍口覚副会長は「平成7年に県人会を立ち上げました。近畿長野県人会を見習って頑張りたい。」と意欲を述べられた。在広島信州県人会金行悦子副会長は「男子駅伝大会に最大の力を入れています。秋に平田農園でのぶどう狩りも楽しんでいます。」名古屋長野県人会高橋春光理事は「駅伝応援のため『故郷アスリート応援同好会』を立ち上げました。」などと紹介。

続いて田辺三菱製菓の土屋裕弘相談役（当会顧問）がお土産に提供して下さった「タナベ胃腸薬ウルソ」の薬効についてPR。

お楽しみ抽選会

お楽しみ抽選会が中井良策常任理事の総括のもと、小倉尚子副会長・小倉智子理事姉妹による司会進行によってスタート。

北野建設大阪支店の吉田信課長補佐からは成年の会員10人に「干支入り紅白タオル」がプレゼントされた。

続いて各代表により抽選が行われた。

池田和正顧問から大丸百貨店商品券が4名に、昼神温泉ユルイの宿「恵山」の田中尚夫社長からペア宿泊券1名と市田柿箱入り3名、松川町の田中学課長からりんごワイン3名、伊那食品工業大阪支店の伊藤哲成支店長から



昼神温泉「恵山」宿泊券に当選の加藤さん

野沢菜漬20名、旭松食品の山田晃一郎監査室長代理から商品の詰合せ15名、信州ハム関西営業所の金子課長から熟成ロースハム15名、八十二銀行大阪支店の片桐伸介支店長からノベルティ詰合せ10名、私(清水)から播磨屋本店おかき10名、小倉尚子副会長・小倉智子理事からクッキー「庄谷の和のころ」10名、最後に小林道明副会長からの商品券が15名に贈られた後、残りの参加者全員に圓山武顧問から栗羊羹・おかきセットが渡された。

宴も終わりに近づき、歌唱タイムは淡海長野県人会龍口副会長によるハーモニカ伴奏のもと、「故郷」「朧月夜」「みかんの花咲く丘」「里の秋」を合唱、最後に恒例の「信濃の国」を6番まで熱唱し故郷に思いを馳せた。

楽しい時間は経つのが早く、太田博副会長の閉会の挨拶でお開きとなり、会員はお土産入りの袋を手に、名残を惜しみつつ 帰路についた。
清水 嘉江子(松本市出身)



お土産、酒類、景品等の提供者 (敬称略)

【お土産】 一参加者全員に一

- ▽田辺三菱製菓：メディスキンコート 他
- ▽伊那食品工業：寒天ぞうすい・プチ寒天麺 他
- ▽旭松食品：新あさひ豆腐・新あさひ粉豆腐
六花亭チョコレート(難民救済支援品)他
- ▽信州ハム：サラミソーセージ(2本入り)
- ▽(株)おびなた：信州戸隠 生そば
- ▽長野県大阪事務所：りんごジュース(缶) 他

【宴会場持込酒類】

- ▽伊那食品工業：清酒「今錦」 720ml 4本
- ▽田川善弘：清酒「勢正宗」他 720ml 4本
- ▽中井良策：清酒「井筒長」「寒竹」1.8ℓ 3本
- ▽松川町：りんごワイン・シードル 720ml 21本
- ▽近畿長野県人会：焼酎(麦・芋) 1.8ℓ 2本
- ▽長野県大阪事務所：清酒 720ml 5本

【贈答品】

- ▽北野建設：干支入り紅白タオルセット 10
- ▽圓山 武：栗羊羹・大豆菓子まめずら〜 30

【お楽しみ抽選会景品】

- ▽八十二銀行：ノベルティ詰合せ 10
- ▽ユルイの宿 恵山：ペア宿泊券 1・市田柿 3
- ▽池田和正：商品券(5千円) 4
- ▽小林道明：商品券(5千円〜千円) 15
- ▽小倉尚子・小倉智子：庄谷の和の心クッキー 10
- ▽清水嘉江子：播磨屋本店 おかき 10
- ▽松川町：りんごワイン 720ml 3
- ▽近畿長野県人会：

- 伊那食品工業・野沢菜漬(2束入り) 20
- 旭松食品・商品詰合せ 15
- 信州ハム・熟成ロースハム 15

心から御礼申し上げます

新年懇親会に法人会員および個人会員ほか多数の方々からご寄贈を頂き、心から御礼申し上げます。

近畿長野県人会 会長 高坂昌利

平成30年 定期総会 (報告)

定期総会は11時から大平文人 副会長・総務部会長の司会のもとに開催された。

冒頭に昨年の物故者4名に黙祷を捧げた。

高坂昌利会長が「私は5年前に会長に任命されて今年で6年目となります。今年は任期3年の最終年ですので緊張感をもって任務を遂行したい。就任時に掲げた“会員の顔が見える県人会の運営”を基本に、同好会を立ち上げ日常の会員交流を促進して参りました。また昨年3月には『近畿長野県人会公式ホームページ』を開設しました。是非ご覧ください。今年の大きなイベントとしては10月に東信の別所温泉一泊旅行を企画しています。皆様のご参加をお待ちしています。」と挨拶した。

続いて、会則に則り高坂会長が議長となり議事を進めた。

平成29年事業報告および収支決算報告

事業報告は事務局の島田宗人常任理事が「昨年は10月に箕面温泉で日帰り旅行・懇親会を開催、長野県代表校や長野県チームの応

平成29年収入支出決算(1月1日～12月31日)

(単位:円)

	予 算	実 績	増 減
収入の部			
会費収入	3,250,000	3,080,000	△170,000
雑収入	80,000	64,399	△15,661
前年繰越金	90,899	90,899	0
収入合計	3,420,899	3,235,238	△185,661
支出の部			
事務局費	400,000	428,349	28,349
会議費	1,520,000	1,468,111	△51,889
事業費	1,370,000	1,252,829	△117,171
予備費(*1)	20,000	15,626	△4,374
支出合計	3,310,000	3,164,915	△145,085
次年度繰越	110,899	70,323	△40,576

*1 予備費:ホームページの開設

援、新しく麻雀同好会が発足、公式ホームページの開設など」報告した。

収支決算報告は太田豊和財務部会長から「昨年1月から会員の年会費を3,000円に変更いただき、単年度の収支を若干の赤字にとどめることができました。会員の皆様のご理解に感謝します。」と報告。続いて、田川善弘監事から「適正に処理されている」と監査報告があり、両議案が承認された。

役員を選任

新たに常任理事として遠藤正典氏(辰野町)を選任、承認された。

平成30年事業計画(案)および収支予算(案)

事業計画(案)は高坂会長から「今年は秋に故郷訪問一泊旅行を計画している。また、新会員の入会促進に力を入れたい」と説明。

収支予算(案)は太田財務部会長から「会員の減少もあり、収入と支出をバランスさせた厳しい予算となっている」と説明。

両議案とも承認された。

議案の審議が終了した後、新入会員の紹介、同好会の各世話人から活動紹介、秋の「故郷訪問一泊旅行」の案内があった。

平成30年収入支出予算(1月1日～12月31日)

(単位:円)

	予 算	前年実績	増 減
収入の部			
会費収入	3,940,000	3,080,000	860,000
雑収入	70,000	64,339	5,661
前年繰越金	70,323	90,899	△20,576
収入合計	4,080,323	3,235,238	845,085
支出の部			
事務局費	400,000	428,349	△28,349
会議費	1,500,000	1,468,111	31,889
事業費	2,090,000	1,252,829	837,171
予備費	20,000	15,626	4,374
支出合計	4,010,000	3,164,915	845,085
差引収支	70,323	70,323	0

・運営基金 30年末現在高 2,000,000円(見込み)

新年懇親会 感想文

小泉 倬朗(上市市出身)

総会・新年懇親会は大変嬉しく過ごさせていただきました。これからもこの通り進行していただきたく思います。ワインも美味しく、多くの種類を味わいました。ありがとうございました。

又、ご案内いただいた 親睦会にも 入りたいと思っています。よろしく願い致します。



根師 資子(松本市出身)

新年懇親会は2回目の参加ですが、かなり久しぶりでしたので緊張感でいっぱいでした。テーブルに案内していただくと同じ出身地域の方々で、和やかな雰囲気の中での美味しいお料理、長野の地酒、りんごワインなどをいただきながら初対面の方とも楽しく談笑することができました。

お楽しみ抽選会は会場全体が盛り上がり、皆さんの笑顔が絶えませんでした。また懐かしいハーモニカの音色で唄う童謡は幼い頃の故郷を思い出し、心に染みわたりました。この度は役員の皆様には大変お世話になり、とても貴重な時間を過ごしました。本当にありがとうございました。



小林 照恵(須坂市出身)

この度の県人会に初めて参加させていただいた小林照恵です。最初はとても緊張していましたが、新人紹介で須坂出身と云ったことで須商出身の方がさっそく笑顔で声をかけて下さったり、若いころ訪ねた松代や上田出身の方々とも話が盛り上がり、気がついたら同窓会に参加しているような楽しい雰囲気に。心暖まる雰囲気のこの会をお世話下さった方々に心から感謝。秋の旅行を遠足のように楽しみにしつつ。



仲田 武二(喬木村出身)

今年も楽しみにしていた「新年懇親会」に出席してなつかしい故郷の先輩諸氏にお会い出来ました。毎年楽しい会を創っていただく各役員の皆様や故郷からのスポンサー? 等々楽しみながら感謝しております。

やはり「故郷は遠きにありて思うもの」の感が強いです。信州人も若人、壮年、老年等各年代別にかかりの人達が西日本(近畿地区)に在住しておられると思いました。何か気楽に顔が出せられるインフォメーションを考えて行ければと思いました。「好きやねん信州」の様に…



秋の日帰り旅行・懇親会を開催！

— 箕面国定公園の散策と温泉も楽しむ —

秋日和に恵まれた10月5日(木)、箕面観光ホテルで「秋の日帰り旅行・懇親会」が行われた。参加者は来賓の方々を含めて57人。会場には10テーブルが設えられ、植松高志常任理事の司会のもと12時に開宴。

高坂昌利会長が「大勢のご参加をいただき、有難うございます。小林道明副会長・北信地区長が中心となって企画、開催することができました。近畿長野県人会は今年5月に創立55周年を迎えました。同好会も6つでき、日常の交流を進めています。」と近況報告の後、ご来賓3名と新入会員1名の紹介があった。

乾杯の音頭は小林副会長が「箕面までようこそ。懇親会の後、温泉・大衆演劇を楽しんでください。」と挨拶。「乾杯！」

それぞれのテーブルには前菜・刺身・幕の内弁当・椀物などが並び、飲み物もビールのほか高坂会長・小林副会長から信州の銘酒「真澄」3本、小林副会長から紅白ワイン5本の差入れがあり、互いに酌み交わし話題に花を咲かせていた。

来賓挨拶は、在広島信州県人会の小林計夫会長が「私の生まれは長野市です。就職先が広島でしたので、縁があって広島県人会に入会しました。近畿長野県人会の益々の発展を願ってい

ます。」渡邊洋征事務局長が「全国都道府県対抗男子駅伝大会長野チームのV8達成を！」続いて京都長野県人会の甘利譽司三副会長が「京都長野県人会は今年で45周年を迎えました。会員に親しまれる企画を模索しています。」と日頃の努力を語られた。

続いて同好会活動について紹介があり、ゴルフは武田啓嗣さんが「『みすず会』の名称のもとに、上手も下手もハンディ戦で楽しんでいます。」と。カラオケは海沼喜邦さんが「誰でもできることなのでご参加を」と。麻雀は遠藤正典さんが「初心者も大歓迎です。」と。グルメと大相撲は小林道明さんが、ハイキングは加藤信也さんが説明された。

余興では中井良策さん考案のクイズを個人戦と団体戦で行い、正解者には賞品の信州ハム「腸詰サラミ」がプレゼントされた。続いて「ふるさと」「里の秋」「紅葉」最後に恒例の「信濃の国」を斉唱。全員で記念写真を撮影の後、太田豊和副会長の中締め挨拶でお開きとなった。

その後は演劇・歌謡ショーを観る、温泉に入る、箕面の滝まで散策するなど、各自が楽しい時を過ごされ、日帰り旅行・懇親会は盛況のうちに終了した。 清水 嘉江子(松本市出身)



近隣長野県人会トピックス

[京都長野県人会]

新年祝賀会・全国女子駅伝大会慰労会を開催

1月14日(日)18時から京都東急ホテルで来賓・会員・選手団90名が出席、開催された。

朝から西京極競技場の京都長野県人会の旗を掲げたスタンドで長野県チームを応援し、入賞にあと一步の9位と健闘した選手たちを皆でたたえつつ新年祝賀会・慰労会会場へ移動した。

会は山田孝久事務局長が司会、有賀一夫会長の挨拶、来賓代表、選手団代表挨拶の後、玉城良二監督が選手団を紹介、乾杯、祝宴となった。宴が進みカラオケタイムでは選手たちもリラックスして楽しんだ。最後に 佐々木文華 主将がお礼を述べ、甘利譽司三副会長の 閉会の辞でお開きとなった。(高坂昌利会長出席)



[淡海長野県人会]

新年祝賀・懇親会を開催

1月21日(日)12時からクサツエストピアホテルで来賓・会員24名が出席、新年祝賀・懇親会が開催された。

小林圭介会長挨拶に続いて来賓3名が紹介され、長野県大阪事務所、京都及び近畿長野県人会の代表がそれぞれ挨拶した。

恒例の余興は会員の知人の演芸「安米節」と、会員による「信州方言あれこれ」ではズク・マシよ・ズラ等懐かしい言葉を使った

会話が披露された。続いて龍口副会長のハーモニカ演奏があり、最後に「信濃の国」を斉唱して閉会となった。(掛川俊一副会長出席)

[名古屋長野県人会]

新春懇親会を開催

2月3日(日)11時30分から名古屋栄東急REIホテルで来賓・会員など約120名が出席。オープニングに「麻績村 聖太鼓」の演奏があり、「信濃の国」を歌ってから太田宏次会長挨拶、来賓挨拶、鏡開き、乾杯で宴に入った。



長野県内の市町村から首長、関係者など多数が特別参加、地酒やワインの寄贈も多く会員も大いに楽しんだ。宴の最後に全員が輪になって「ふるさと」を歌ってお開きとなった。

(高坂昌利会長出席)

[在広島信州県人会]

全国男子駅伝大会祝勝・激励会を開催

1月21日(日)午後6時から広島市文化交流会館で来賓、選手団、長野県関係者、会員90名が出席、駅伝大会で準優勝した「チーム長野」



の祝勝・激励会が開催された。長野県から阿部守一知事はじめ県議会スポーツ振興議員連盟萩原清会長他多数の方が応援に駆け付けた。

選手団が入場し記念撮影後、小林計夫会長の挨拶、伊藤利博団長、高見澤勝監督から準優勝の報告と選手団の紹介、阿部知事の祝辞、感謝状贈呈、乾杯と続いて祝宴が始まった。

関西「ふるさと信州中野会」

総会・なごやか交流会を開催

昨年11月18日(土)ホテルプラザオーサカで会員約60名と中野市から池田茂市長はじめ市議会議員、商工会議所会頭、JA組合長、産業公社理事長ほか関係者が多数出席して、2年ぶりの総会と交流会を開催した。

総会では、藤保君子会長(近畿長野県人会副会長)が再任された。

交流会では、タレントの山田雅人さんが「かたりの世界」を披露、故郷ゆかりの歌唱などもあり、会員と郷土「信州中野」との交流が深まった。



関西塩尻会を開催

昨年11月18日(土)新大阪ワシントンホテルで会員17名と塩尻市から米窪健一朗副市長、古畑秀夫市議会副議長ほか5名の22名が出席して第25回 関西塩尻会が開催された。

唐沢秀明会長の挨拶、米窪副市長から塩尻市の現況紹介、古畑副議長の挨拶のあと宴に入った。バーカウンターには塩尻市特産品のワインが多数並べられ、会員は談笑しつつグラスを重ねていた。



同好会の活動報告

[麻雀同好会]

◇第5回開催 H29.10.10(火)

・参加者16名(男子13名、女子3名)
初心者も大分慣れてきて楽しんでいる様子。終了後12名が同ビルB2にある神戸酒心館の直営店「福寿」で懇親した。

◇第6回開催 H29.12.12(火)

・参加者16名(男子14名、女子2名)
年内最後の例会で仕上げの「大会」を開催した。4卓に分かれ1時間でメンバー交代、4回戦に熱中した。終了後居酒屋「満願亭」で表彰式と一年の活動を振り返りながら懇談した。今回の優勝は白井彰彦さん。



◇第7回開催 H30.2.13(火)

・参加者17名(男子13名、女子4名)
本年最初の開催で、女性の初参加者1名。4卓に分かれ、1人が初心者のお後ろでアドバイス。終了後7名がB2の「九州もん」に集まり懇親。

[カラオケ同好会]

◇第16回開催 H29.9.4(月)

・歌謡練場うたおう(天神橋3丁目)
・参加者16名(男子9名、女子7名)
終了後、「上海食苑」で12名が懇談した。

◇第17回開催 H29.12.4(月)

・舞ひろ子の店 舞(天神橋3丁目)
・参加者14名(男子9名、女子5名)
12月1日から「うたおう」が「舞」に変わり、経営者は演歌歌手の舞ひろ子さん。貸切でなく、

他の客と交互に歌ったので歌い足りなかったが、最後に「信濃の国」で盛り上がった。散会后、有志12名が「上海食苑」で忘年会と銘打って小籠包に舌鼓をうちながら歓談した。



[ハイキング同好会]

◇第14回開催 H29.10.5(木)

明治の森国定公園・箕面の滝道散策

・参加者 8名(男子8名)
箕面観光ホテルでの日帰り旅行・懇親会にあわせて大滝までの滝道を散策。ハイキング終了後、箕面スパーガーデンで入浴、懇親会に合流した。



◇第15回開催 H29.12.5(火)

年末恒例の灘の酒蔵めぐり(4回目)

・参加者13名(男子9名、女子4名)
・阪神魚崎駅～浜福鶴吟醸～菊正宗酒造～白鶴酒造～石屋川公園で昼食～神戸酒心館(福寿)～こうべ甲南武庫の郷～阪神新在家駅



法被姿の女子4人(白鶴酒造で)

[ゴルフ同好会・みすず会]

◇秋季コンペは雨天中止 H29.10.19(木)

泉南カンツリー倶楽部で開催予定のコンペは参加者全員がゴルフ場に集合したが、雨天で中止となった。

春季大会は 4月24日(火) 泉南カンツリー倶楽部で開催します。

[グルメ同好会]

◇第7回開催 H29.9.14(木)

ウイグル料理と民族舞踊・音楽

・参加者 18名(男子12名、女子6名)
・場所 シルクロード・ウイグルレストラン
「ムカーム」(大阪市中央区道頓堀2丁目)
ウイグル料理を十分味わった後、ジャミラさんの歌と踊りを楽しんだ。みんなも一緒に踊って4年前の“全員懇親会”のミニ版となった。



◇第8回開催 H30.2.22(木)

すっぽん料理コース

・参加者13名(男子7名、女子6名)
・場所 「丸元」(大阪市中央区千日前1丁目)
すっぽん料理は初めてのメンバーが多く、ワインで割った“赤い飲み物”に恐々。焼き海苔で肝、ハツ、苦玉、卵を包んでパクリ。明朝のプルプル肌を夢見て挑戦した宵であった。



長野県大阪観光情報センターだより

長野県大阪事務所長 樋口 隆教

五感で巡る 南信州の旅

2月9日(金)に大阪アメニティパークで南信州(飯田・下伊那地域)と関西メディアとの懇談会が開催されました。

この催しは、銀座NAGANOでは行われていますが、関西では初めてで、長野県観光大使の峰竜太さんをホストにマスコミ16社を招待し、南信州の観光をPRしました。

今回はこの南信州の魅力、観光スポットをご紹介します。

◆民俗芸能の宝庫

南信州には古くからの芸能や祭りが多く伝えられ、国の重要無形民族文化財に指定されているものも少なくありません。

この地を旅した人によりもたらされ、この地の感性で磨かれた人形芝居や、湯立神楽、歌舞伎など分野も様々です。ある時は神々への奉納のため、またある時は人々の娯楽のため、時を超えて受け継がれる精神と技を、ぜひ、ご堪能ください。



糸操人形(飯田市)

(写真提供：長野県観光機構)

月	芸能・祭り	開催時期
5月	大鹿歌舞伎春定期公演 (大鹿村)	3日
7月	深見の祇園祭り (阿南町)	第4土曜
8月	いいた人形劇フェスタ (飯田市)	3日~12日
	坂部・向方・大河内の掛け踊り (天龍村)	14日
	温田くれ木踊り (泰阜村)	第3土曜

◆色彩豊かな 花の競演

桜のシーズンが終わると、シャクヤクやくりん草、アジサイなど初夏の花が開花時期を迎えます。麓から高山へと、標高差のある南信州ならではの色彩豊かな花の競演をお楽しみください。

月	花の種類(市町村)	開花時期
5月	しゃくやく園(豊丘村)	5月上旬~5月下旬
	くりん草園(喬木村)	5月中旬~6月上旬
6月	岩ツツジ(根羽村)	6月上旬
	そばの花(下條村)	6月中旬
	コマクサ(阿智村)	6月中旬~7月中旬
7月	クレナイヤマアジサイ(飯田市)	6月下旬~7月下旬
	明皇山あじさいの里(売木村)	7月中旬~8月上旬

*天候で変動あり、事前に市町村へお問合せください

◆JR飯田線「秘境駅」めぐり

山奥などにあり、鉄道以外で到達が難しく、周辺に民家や人の気配もない駅のことを「秘境駅」と呼びます。初夏の「秘境駅」をめぐる飯田線の旅はいかがでしょうか。

飯田線の秘境駅「中井侍(なかいざむらい)駅」からは急斜面の茶畑が見事で、「為栗(してぐり)駅」からは天龍川の眺めが絶景です。

NAGANO WINE の魅力

長野県は寒暖の差が大きく日照時間が長いことから、ぶどう栽培に適しており、良質なワイン用ぶどうが育ちます。そのぶどうを地元でワインに醸造できるのが、「NAGANO WINE」の魅力です。



ワイン用ぶどう園(塩尻市)

◆ワインツーリズム信州

「ワインツーリズム」とは、ワイナリーやぶどう園をめぐり、つくり手たちと触れ合い、そのワインが生まれた土地を散策し、ワインを味わいながら、地元の食べ物や文化を楽しむ旅のスタイルです。

現在、長野県にワイナリーが36ヵ所あり、地域毎に千曲川・日本アルプス・桔梗ヶ原・天竜川の4つのワインバレーに分かれます。詳しくは、「世界が恋する、NAGANO WINE」のパンフレットをご覧ください、ワインツーリズム信州をお楽しみください。

今年も就航！JAL大阪⇄松本便

今年も8月1～31日の1か月間、JALが就航します。一日一往復で時間は50分。お得な早割もあり、夏の信州旅行やお盆の里帰りにぜひ、ご利用ください。

◆運航ダイヤ(予定)

伊丹 08:40 発 ⇒ 松本 09:30 着
松本 10:10 発 ⇒ 伊丹 11:00 着

全国高校ラグビー大会

飯田高校 初戦を突破

第97回大会は昨年12月27日から東大阪市花園ラグビー場で開催された。

郷里の代表校飯田高校は、大会の2日目に岡山県代表の名門倉敷工業高校と対戦した。

年末一番の寒さにも拘わらず、6年ぶりの出場で地元からバス14台の大応援団が来阪、関西のOBの皆さんに加勢して、長野県大阪事務所樋口所長・赤岡次長、当県人会からは高坂会長他、法人会員代表諸氏が寒風の中、大きな声援を送った。

戦況は、飯田高校が前半から巧みな中央突破で得点を重ね、後半には倉敷工業の1トライを許すも26対5で快勝、大応援団の声援に応えてくれた。万歳!

勝ち進んで2回戦は、12月30日に神奈川県代表の桐蔭学園高校と対戦した。春の全国選手権で優勝したシード校だけに、一方的な試合にならないように、応援は負けられないと小旗を振って声援するも、桐蔭勢はグラウンドを大きく使った速い連続攻撃を展開、飯田勢は得意なFW勝負も巨漢に抑えられて前へ進むことが出来ず、0対120で敗戦した。力の差を見せつけられた試合であったが、飯田高校の選手一丸となつての戦いぶりに感激した。更なる努力を重ねられ、次回の活躍を期待する。

掛川 俊一(小諸市出身)



全国高校駅伝大会 長野県勢 快挙！ 男子・佐久長聖 優勝、女子・長野東 準優勝

師走恒例の全国高校駅伝競争大会(男子68回：女子29回)が12月24日、曇り、気温11℃の西京極陸上競技場で行われた。

女子が10時20分スタートした。長野東は1区の和田有菜(3年)が19分9秒で区間賞の走りを見せ首位で2区高松(1年)に繋ぎ、3区高安(2年)、4区白田(3年)と2位をキープして、アンカー小林(2年)に託した。最終区で薫英女学院に追いつかれたが、グランド勝負を5秒の差で振り切り、県大会記録を1分42秒も短縮する快走で準優勝した。



男子は12時30分にスタートした。佐久長聖の1区中谷雄飛(3年)、2区服部凱杏(1年)、4区本間敬大(3年)、6区鈴木芽吹(1年)と、7区中4名が区間賞の快走を見せた。前回、平成20年に優勝した時の記録には26秒及ばなかったが、9年ぶり2回目の優勝に輝いた。表彰式の後の報告会ではイチカワドイル理事長・佐藤校長・柳田佐久市長の労いと応援のお礼があった。



応援に駆け付けた県事務所樋口所長・県人会の会員 20名はスタンドから大声援を送り、両校の快挙に「こんな感動は滅多に無いチャンスだ！」などと両校応援団と祝い、喜びを分かち合った。



激励に選手宿舎を訪問

大会に先立ち22日(金)に長野東(11年連続11回出場)と佐久長聖(20年連続20回出場)の宿舎さわや本店へ、高坂会長と京都長野県人会の有賀会長他7名の役員とともに激励訪問し、玉城監督(長野東)・高見澤監督(佐久長聖)に激励の言葉と金一封を贈りました。

「昨年(2017年)は6位入賞でしたが、本年はより上位を狙い、佐久長聖さんの優勝に弾みをつけたいと思います」と玉城監督。「昨年は準優勝で、本年は9年振りの優勝を狙えるチャンスと言われており、皆さんの期待に応えたいと思います」と高見澤監督。両監督から頼もしい言葉が聞かれた。

中井 良策(佐久穂町出身)



皇后盃女子駅伝 応援記

平成30年1月14日、夜半の雪で薄化粧をした西京極陸上競技場を発着点に、皇后盃第36回全国都道府県対抗女子駅伝が、京都国際会館前で折り返す9区間42.195kmのコースで47チームが参加して12時30分にスタートした。

長野県チームは1区で16位、2区で14人抜き・区間賞の2位と中高校生が頑張り、常に実況中継のTVに映り「8位以上の入賞！」も現実味を帯び、期待に胸躍らせて応援しました。社会人区間の最終9区では佐々木主将が自己記録を22秒更新する健闘を見せたが、10kmを31分台の選手が揃う中でスピードの差を見せつけられ、総合タイムは2時間17分47秒と県チームの最高タイを記録したものの、昨年の10位から9位へ1つ上げるにとどまり、8位とは【3秒の差】で念願の入賞を逸した。

なお、西京極運動公園内では、全国駅弁フェアを含めて20道県から郷土料理の出店があり、長野県からは【駒ヶ根ソースカツ丼】が出店、13時には完売の人気であった。応援しながら『ふるさとの味』と銘酒に舌鼓を打ち、空腹と寒さを凌いだ。

閉会式の後、場所を京都東急ホテルに移し、京都長野県人会の新年祝賀会・全国女子駅伝慰労会が開催されました。

(P-7 参照)

皇后盃女子駅伝 激励会

1月13日17時30分、今にも雪が舞いそうな京都・西本願寺の向いにある魚岩旅館において、皇后盃全国女子駅伝に出場の長野県選手団の激励会が行われた。

木戸岡団長の挨拶と玉城監督による役員・コーチ陣・選手の紹介がなされた後、県教育委員会スポーツ課田中課長補佐、県大阪事務所樋口所長、京都長野県人会本木本副会長、近畿長野県人会（筆者）から激励の言葉があり、激励品と金一封を贈って健闘を祈った。

佐々木文華主将からは「気持ちで繋ぐ、ラスト競り勝つ・・・のチームテーマで入賞を狙います」と決意表明があった。 中井良策(佐久穂町出身)



長野市

オリンピック開催地のおもてなし



国宝
善光寺本堂



長野駅



南長野運動公園
総合球技場
「長野Uスタジアム」

皆様の会議、研修、大会の開催を
心よりお待ちしております。



長野市芸術館



芸術館 内部(メインホール)



公益財団法人

ながの観光コンベンションビューロー

〒380-0835 長野市新田町1485-1 長野市もんぜんぶら座 4階

TEL.026-223-6050 FAX.026-223-5520

ながのご縁を



信都・長野市

<http://www.nagano-cvb.or.jp/>

副会長会の開催

○平成29年12月14日(木) 10時30分

大阪市立総合生涯学習C第5会議室(16名)

(1)平成30年定期総会議案について

(2)新年懇親会開催について

日程、会場、当日会費8,000円を決定

(3)役員会の開催について

役員会の開催

○平成30年1月16日(火) 10時30分

大阪市立総合生涯学習C第4研修室(30名)

(1)平成30年定期総会議案について

(2)総会・新年懇親会について

プログラム、運営体制・役割分担など決定

役員の変動(敬称略) H30.1.28総会

新任 常任理事 遠藤 正典(辰野町)

新入会員の紹介(平成29年10月以降)

(敬称略:氏名・出身地=紹介者)

小松 俊(松本市) = 平林 運敏

根師 資子(松本市) = 平林 運敏

今井 真理子(篠山市) = 事務局

ご 逝 去 (敬称略)

田中 克己(松川町) 平成29年4月20日

徳武 千春(長野市) 平成29年11月10日

加藤 晴三(佐久穂町) 平成30年2月8日

船坂 昭夫(駒ヶ根市) 平成30年2月13日

宮下 俊彦(伊那市) 平成30年2月14日

加藤 晴三さんのご逝去を悼む

加藤晴三さんは監事、副会長としてご尽力いただき、中でも、長野冬季オリンピック招致に際し、招致委の財務委員会幹事として近畿での募金集めに大変努力されました。近年は顧問としてご指導いただきました。長年のご支援・ご貢献に感謝申し上げますとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。 会長 高坂 昌利

「信濃の国」は県歌制定50周年に

平成30年5月に、「信濃の国」は県歌制定から50周年を迎えます。長野県の地理や偉人などが歌詞に盛り込まれており、ふるさと信州を学ぶ「信州学」の教材にも適している県の宝です。

県歌制定50周年を契機に、県民が長野県のすばらしさを再発見し、県民としての誇りを再認識する事業や、小中学生・高校生を主な対象として、より一層歌詞やメロディに親しみ、学びにつながる取組を実施する予定です。

「信濃の国」は1899(明治32)年に長野県師範学校教諭の浅井 洌(きよし)が作詞、翌年に同校教諭の北村季晴(すえはる)が作曲したもので、信濃教育会が作った「地理歴史唱歌」6作品の1つでした。

師範学校の卒業生が県内の学校で生徒に教えたことで各地に広がり、歳月を経て、親から子へ・子から孫へという形で歌い継がれてきました。そして1968(昭和43)年5月20日、県歌に制定されました。

(長野県企画振興部広報県民課資料より)

編集後記

今回の平昌オリンピックではカーリングやパシュートでチームワークの重要さが感じられましたが、個人競技でも監督・コーチや技術スタッフなど、選手を支える人々の総合力が大切です。

県人会の活動でも役員と会員の皆さんとの情報交換を大切にして、会報とホームページの充実で、会員同士の交流活性化を図っていきたいと思います。(安藤 隆雄 記)

検索: 近畿長野県人会公式ホームページ

<http://kinki-nagano-kenjinkai.com//>



長野県への産業立地 4つのしあわせ

信州で“繋がる”しあわせ

- 日本の真ん中
- 関西とのアクセスもより便利に

信州で“続ける”しあわせ

- 良質な水が豊富
- 強固な地盤と少ない降水量

信州で“感じる”しあわせ

- 時間にも住空間にもゆとり
- 健康長寿と勤勉で豊富な人材

信州で“広がる”しあわせ

- 次世代産業の創出を目指す
- 研究開発拠点の立地として好適



しあわせ信州

■産業立地のお問合せは **長野県大阪事務所**

〒530-0001

大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階

TEL:06-6341-7006 FAX:06-6456-2889

E-mail:osakajimu@pref.nagano.lg.jp